△アルファロールカプセル・○散，◎アルファカルシドールカプセル，△ワンアルファ錠　［内］

【重要度】　【一般製剤名】アルファカルシドール（U）　Alfacalcidol　【分類】活性型ビタミンD3製剤
【単位】◎0.25・◎0.5・△1・▼3μg/Cap，◎1μg/g［0.25μg分包］，△0.25・△0.5・△1.0μg/錠［ワンアルファ］
【常用量】■慢性腎不全，骨粗鬆症：0.5～1.0μg/日■副甲状腺機能低下症その他のビタミンD代謝異常に伴う疾患：1.0～4.0μg/日
【用法】1日1回（食後）
【透析患者への投与方法】血清Ca，IPをモニターして投与（5）通常0.25～0.5μg/日で投与（5）
【保存期CKD患者への投与方法】高Ca血症に注意して使用（5）

【特徴】小腸におけるCa吸収の促進，骨吸収と骨形成の調節，腎尿細管でのCa再吸収の増加などの作用がある．1α-(OH)D3であり、徐々に効果を発揮して約9時間後最高値に達する．腸管のTRPV6，PMCA1bなどのトランスポーター発現誘導により腸管からの能動的なCa吸収を促進させる．また，腎TRPV5，PMCA1bなどの発現誘導により尿細管でのCaの再吸収を促進．副甲状腺ではCaSRの発現量増加やPTH遺伝子発現抑制により血清PTHを低下．
【主な副作用・毒性】高Ca血症，AKI，肝機能障害，消化器症状，めまい，しびれ感，動悸など
【吸収】小腸から容易に吸収される（U）　VDの代謝物のいくつかは胆汁より再吸収されることが証明されているが無視してよい程度である（U）100%（11）
【tmax】カルシトリオールとして約12hr（U）8～24hr　（1）
【代謝】肝で代謝され活性化される（U）
【排泄】腎13%，糞中5%（U）
【t1/2】29.4hr（1）アルファカルシドールとして3hr（11,U）
【蛋白結合率】65%（6）輸送のために特異なアルファグロブリンと結合する（U）リポ蛋白と結合（1）
【貯蔵】主に肝と他の貯蔵脂肪に貯蔵される（U）
【MW】400.6
【透析性】透析で除去されない（1）
【O/W係数】6500（11）資料なし（1）
【相互作用】Mgの消化管吸収や尿細管再吸収を促進して高Mgのリスクとなる（1）PTH製剤併用での高Ca血症のおそれ（1）
【主な臨床報告】SHPTのない透析患者のCV複合イベント抑制効果を認めず［J-DAVID］（Shoji T, et al: JAMA 2018 PMID: 30535217）
J-DAVIDの評価は骨代謝回転の程度（ALP）で影響されない（Oka T, et al: Sci Rep 2022 PMID: 36104443）
低用量VDRAは血管石灰化に抑制的に作用するかもしれない（Drueke TB, et al: Nephrol Dial Transplant 2012 PMID: 22431706）
【更新日】20250621

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。